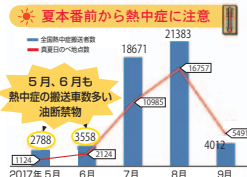


今年のゴールデンウィークは各地で連日25度以上の夏日になり、北海道でも30度以上の真夏日になったりと、早くも夏の訪れを感じさせるような暑さとなりました。総務省消防庁の発表によると、今年の5月1日から7日までの熱中症による搬送者数はすでに422人。つい「まだ5月」と暑さ対策や熱中症に対する意識は薄くなりがちですが、もうこの時期からは熱中症に注意が必要です。

昨年の月別の熱中症の搬送者数を見ると、一年で最も気温が高くなる7、8月に搬送者数が多いのはもちろん、5月でも2,788人、6月も3,558人と、多くの人が熱中症で運ばれています。5月、6月は体がまだ暑さに慣れていない

ため、急に気温が高くなる
と暑さに対応できず、熱中
症にかかってしまうことが
あります。熱中症を防ぐた
めに、こまめに水分補給を
し、暑い中での作業時は休
憩を取るのはもちろん、栄養や睡眠をしっかり取って暑さ
に負けない体づくりをするようにしましょう。日本気象協
会では、「熱中症ゼロへ」のプロジェクトを推進し、
<https://www.netsuzero.jp/>にて熱中症の予防を呼び掛
けていますのでぜひご覧下さい。

日本気象協会 平出 真有



特別顧問	丹羽 晟（元理事長、日本空港ビルデング顧問） 丸山 博（元国土交通審議官） 本保 芳明（初代観光庁長官）
理事長	大島 慎子（筑波学院大学学長）
副理事長	岡村 進（元小田急トラベル社長） 横山 善太（元日本航空副社長） 須田 寛（東海旅客鉄道相談役） 加納 隆（元朝日新聞経済部記者）
事務局長	杉 行夫（理事） 事務局次長 堤 るり（理事）
支部長	須田 寛（中部） 魚住 隆彰（北陸） 長尾 亜夫（九州） 岩田 弘三（神戸） 梅原 利之（四国）
団体会員	株式会社アルビオン 医療法人社団同友会 一般財団法人NHKインターナショナル 株式会社えんれいしゃ 小田急電鉄株式会社 関西電力株式会社 九州旅客鉄道株式会社 社団法人くらしのリサーチセンター 株式会社グリーンキャブ 株式会社耕人舎 株式会社サマンサタバサジャパンリミテッド 三普旅行社有限公司 四国旅客鉄道株式会社 新菱冷熱工業株式会社 住友電設株式会社 セントラルリーシングシステム株式会社 大成建設株式会社 大成設備株式会社 大成有楽不動産株式会社 株式会社丹青社 第一交通産業株式会社 株式会社ダイエーコンサルタント 中国電力株式会社 中部（東海・北陸・信州）広域観光推進協議会 東海旅客鉄道株式会社 東急建設株式会社 東京急行電鉄株式会社 財団法人東京観光財団 西日本鉄道株式会社 西日本旅客鉄道株式会社 公益社団法人日本観光振興協会中部支部 日本空港ビルデング株式会社 専門学校日本ホテルスクール 羽田旅客サービス株式会社 株式会社パロックジャパンリミテッド 広島電鉄株式会社 福岡空港ビルディング株式会社 北海道空港株式会社 株式会社ホテル小田急 ホテルメトロポリタン マイナミホールディングス株式会社 株式会社まるまんフィオーレ 三菱電機株式会社

特定非営利活動法人《NPO》

JAPAN NOW
観光情報協会

東京都新宿区西新宿2-7-1
小田急第一生命ビル5F5 〒160-0023
電話 03(5989)0902
FAX 03(5989)0903
E-mail info@japannow.org
HP www.japannow.org/

発行人：大島 慎子（JN協会理事長）
編集長：北村 嵩（JN協会理事）
発行部数：3,000部
主な配布先：会員、中央官庁、地方自治体、
民間企業、マスコミなど

編集後記

5月のGW後に友人たちと台湾旅行に行った。新聞募集中心のいわゆるメディアパッケージの旅行である。旅行会社に勤めていた関係で団体旅行の添乗員として出張などで旅行したことは多いが、純粋な客として観光旅行に参加したことはほとんどない。美味しい料理と旨い酒を楽しむという友人の誘いに乗ったのだが、当然他の客と一緒に観光バスで観光地を回った▼今回の旅で、観光に組み込まれている様々な観光素材についていくつか気が付いたことがある。相変わらず観光の途中で免税店や専門土産店など立ち寄る。昔のように店に鍵をかけて外に出られないということは無いにしろ買い物に関心のない人の多くは困惑顔であった。ツアーに含まれているレストランは多くの団体客がひしめき合っている。ショッピングセンターで一定時間開放し自由に買い物をさせたり、そのツアー専用のユニークなレストランを使用するなどの工夫があっても良いのではないかと▼観光では必見の故宮博物館の他には、三峡、鶯歌、淡水などの老街散策などが見どころだが、観光客誘致を模索している日本の地方にも参考になる事例もあった。台北から車で1時間ほどのところにある十分という山狭のローカル線沿いの老街で天燈上げを行った。好きな色の1メートル四方ほどの天燈に墨で願い事を書いて空に上げる。十分は神様に一番近い場所といわれ昔から地元の人が願いを叶えるために細々と行ってきた行事が観光客に広まり天燈を大きくし大々的に行って過疎の町の町興しに貢献している▼十分から山を越えたところにある狭い山沿いの町九份は、ジブリ映画「千と千尋の神隠し」のモデルになった阿妹茶楼があるので観光客に人気が高い街である。当日は平日にも関わらず多く観光客でごった返しており、日本人の他韓国人観光客も多かった。なんでもこの街が韓国映画の舞台になってから韓国からの観光客が急増したそうである。日本でも映画の舞台になった地方に観光客が殺到する事例が増えている▼観光素材は既存の自然や古いものだけでなく、新しく作り上げることもできる。観光振興を目指している地方も発想の転換が必要かもしれない。（北村）

NPO法人
113

JAPAN NOW
Non-Profit Organization JAPAN NOW Tourism Information Association.

人と都市・観光の地球時代を市民が変える！
観光情報協会

東京都知事が認証した「都市・環境・観光NPO」が発信する隔月間情報誌
第113号 発行日 2017年5月31日

Contents

- JN協会通常総会を開催 1
- 4月の訪日客単月で過去最高 1
- 通常総会記念講演 2
- COLUMN 少子高齢化社会 2
- 観光列車を見る③ 3
- 観光と鉄道(4) / NEWSPOT G6詣で 4
- アメリカこぼれ話 49 / 火の接吻 5
- 霞が関通信 / カリブ海駆け足旅行記(3) 6
- 関西鼻肩② / 観光立国セミナー 7
- 気象と天気の話 / 編集後記 8



写真：うどん泉ネット <http://www.my-kagawa.jp/>

1915年、大正天皇の即位の礼にあたり、大嘗祭に綾歌郡山田村（現綾川町山田）の米を献納したことが起源。当時の田園風景を再現した祭りで、毎年6月下旬の日曜日に開催される。

JN協会第16回通常総会開催

久恒啓一氏が記念講演「図で考えれば、世界が見える！」
～大観光時代とグローバル言語～

NPO法人「JAPAN NOW 観光情報協会」（大島慎子理事長）は5月17日（水）、東京麹町の海事センターで第16回通常総会を開き、平成28年度の事業計画と予算を承認し、平成29年度の事業計画と予算を決めた。

総会の冒頭、大島理事長が挨拶し、「今期は平成13年、小泉首相の「観光立国宣言」を受け、設立されてから16回目の総会である。出版企画「城と街道（みち）」への支援協力など新しい企画にも取り組んでいきたい」と述べた。

29年度の事業計画では、会員各位の協力により、個人、団体会員の増加に取り組み、情報紙「JAPAN NOW」の紙面充実とホームページの拡充をより一層進めるとともに、従来同様、各地での講演会を随時開催する。現在、10月には中部地区で観光立国フォーラムが予定されている。又、多彩な講師による観光立国セミナーも月一度の頻度で開催する。

総会終了後は、日本航空出身で、現在、多摩大学副学長の久恒啓一氏による「図で考えれば、世界が見える！～大観光時代とグローバル言語～」と題する講演を行った（その概要は2面に掲載）。

講演会の後、懇親会に移り、講師の久恒啓一氏を囲んで、意見交換を行った。

JN協会講師派遣による地域観光振興支援を強化

インバウンドに向けた観光づくり、地域観光の基盤づくり等、JN講師の経験実績による講演・コンサル活動を推進します。

4月の訪日外客数は前年同月比で23.9%増の257万9千人！

単月で初めて250万人を突破で過去最高。韓国人が56.8%と大幅増

JNTO（日本政府観光局）の発表によると、2017年4月の訪日外客数は、前年同期比23.9%増の257万9千人で、単月として過去最高を記録した。これまでの単月過去最高は2016年7月の229万6千人であった。

昨年4月は熊本地震の影響で韓国からの訪日旅行者を中心にやや伸び悩んで低調であったが、持ち直した。伸び率は2月7.6%3月9.8%と1ヶ台だったが、1月以来3か月ぶりに20%台に戻り、1～4月通算でも16.4%となった。

4月は、航空座席供給量の増加などを受けた韓国市場の伸びが訪日者数全体を牽引。イースター休暇が今年は4月（昨年は3月末）になったこと、清明節やタイ正月、学校休暇など各市場の休暇や祝日が訪日需要の増加に貢献した。さらに、桜をはじめ日本の春の魅力が浸透してきたことも、訪日旅行への意欲喚起に繋がった。

市場別では、韓国は前年4月14日に発生した熊本地震を受けた訪日客遠退の反動もあり、前年同月比56.8%増の55万4千人と昨年同月を大幅に上回り、1月からの累計でも30.8%となった。中国は、前年同月比2.7%増の528,800人で一桁台の伸び率となった。1月～4月の平均伸率の9.6%で増加幅は抑えられ1～4月累計数でも韓国に抜かれて2位となった。他の市場では、台湾、香港、タイ、インドネシア、フィリピン、ベトナム、インド、米国、カナダ、英国、フランス、ドイツ、ロシアの13市場が単月として過去最高を記録した。

尚、観光庁田村明比古長官は記者会見で、本年の訪日客が5月13日に1千万人を超え、過去最速のペースであると発表した。

■■■■「図で考えれば、世界が見える！」■■■■

～ 大観光時代とグローバル言語 ～



多摩大学副学長 久恒 啓一氏

久恒氏は1950年大分県中津市生まれ。九州大学法学部卒業後、1973年日本航空入社。在職中から「知的生産の技術」研究会など社外の勉強会で活動し、1990年に「図解の技術」（日本実業出版社）を刊行。それをきっかけに日本航空を早期退職し、宮城大学教授に就任。2008年多摩大学教授に転身し、2015年より副学長。NPO法人知的生産の技術研究会理事長、大いなる多摩学会副会長、日本未来学会理事。官庁、企業、教育機関などで講演多数。ベストセラー「図で考える人は仕事ができる」など著書は100冊を超える。

講演内容は多岐にわたり、プロジェクターを駆使した多数の図面とその内容を概要に纏めるのは簡単ではないが、要約してお伝えする。（編集部）

図を作るには、頭の整理が必要

自身の経歴と多摩での活動を、鳥瞰図を使用して紹介した後、本論に入った。文字で書かれた文章を理解するのはなかなか難しい。箇条書きを、考えもなく文書で羅列されても、重要度の大小、因果関係、重なり具合などが示されていない。図解するには要点のみをキーワード化する。そして全体構造を理解し、物事の関係を理解した上で重要度に応じて図にする位置や大小を考え、関連する事項の配置を考える。より良い図を書く努力を続ける人は、図と共に人としても進化していく。梅棹忠雄氏の画期的な説「人類の歴史」や日本史の図解を示しながら説明が続く。

様々な分野を図解する

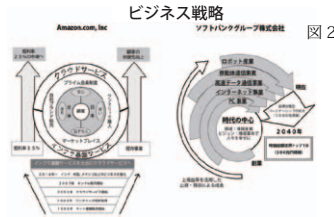
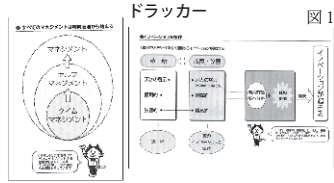
「図で考える人は仕事ができる」がベストセラーになった頃

から、名著、白書、ビジネス理論、ビジネスモデル、歴史など様々な分野を図解するように依頼される事が増えた。マルクスの「資本論」やドラッカーの「マネジメント」（図1）の図解、ユニクロの経営戦略や、アマゾンとソフトバンクグループとのビジネスモデルの違い（図2）などの図解を示しながら説明された。大学の社会人講座では人生鳥瞰図を作成する指導も行っている。

大観光時代の課題と提言

観光はサービス産業の中心であるが、シンガポールその他の国に比べると長期的戦略に欠けている。又、人材育成も不十分であり、観光業界の地位も低い。給料が安く長時間労働で学生達から敬遠されている。大観光時代を迎えるに当たり、日本とは何かを説明できる構造的な理解に欠けている。何を、誰に、どのように伝えるか分野別に伝える努力が必要である。例えば、「わび」「さび」は茶道や華道で、侘しい、寂しいという否定的な概念を肯定的に転嫁したものである。国内旅行は温泉グルメばかりでなく、知的な旅の提言も必要だ。

最後に質疑応答があり、講演終了後の意見交換会でも活発な意見が交わされた。



COLUMN 少子高齢化社会

「少子高齢化」社会が言われるようになって久しい。平均寿命は延びる一方で、年々出生率の低下により生まれてくる子どもの数が減り、国の成長を支える人口動態もいびつな形になり、経済の先行きに黄信号が灯っている。

国の統計では65歳以上の人を高齢者と定義しているが、国連では高齢者は60歳からとみている。これも日本人の長寿を示唆しているひとつの表れと言えるだろう。

過日法隆寺長老の高田良信師が「老衰」で亡くなられた。今や男の平均寿命が80歳を超えている時代に、「老衰」とはさぞかなりのご高齢かと思いきや、失礼ながらまだ76歳になったばかりの新米「後期高齢者」だった。いまだきこの御年で「老衰」とは少々違和感がある。まるで童謡の♪十五で姐やは嫁に行き～♪や、♪村の渡しの船頭さんは今年六十のおじいさん～♪のように、この高齢化時代を未だに昔の老けこんだイメージで考えられているのではないだろうか。

古来長寿には区切りの好い年齢ごとに慶祝の言葉があり、かつてミスター巨人軍の長嶋茂雄さんが「初めての還暦を迎えた」と言って笑いを誘った60歳還暦に始まり、古希、喜寿、傘寿、米寿・・・111歳の皇寿までその数は10種に及ぶ。ひょっとすると長嶋さんの長寿への期待を膨らませた「2度目の還暦」？まで祝うようになるのではないだろうか。

「後期高齢者」入りしてから、空元気を出して「後期高齢者」を返上し「光輝高齢者」だと周囲に吹聴していた。慶応病院人間ドック検診の折、応援歌「若き血」に便乗して♪～『光輝』充てるわれら～♪の「光輝高齢者」だと自己PRして、医師から「その言葉は元気が出ます。いただきましょう」と言われた。その後「香気」湧えて「高貴高齢者」にまで上り詰めた。せいぜい「好奇高齢者」に見られぬよう自戒しつつ、「高貴高齢者」仲間とともに残り少ない「光輝」溢れる余生を、「高貴」に楽しむ「好機」にしたいと願っている。

エッセイスト 近藤 節夫

「関西最良」②

元日本航空副社長 横山 善太

大阪、御堂筋南の白いホテル、日航ホテルに疎開したのは、阪神大震災による怪我のリハビリのためでありました。毎朝9時頃心斎橋の辺りを散歩していると良く出会う景色です。

・若い警察官「おばハン!此処は駐停車禁止やさかい早う移動しなさい」おばハン「判ってまんがな、お兄いちゃん!見掛けんお人やなアー、うちは今大事な仕入れやってるところ何んやどいた、どいた!」この剣幕にお兄いちゃんことお廻りさんは引き下がることになりました。民の力です。

・大阪でAPECの開催に向けて駐車違反常習地域を取締るため、立看板が置かれまして曰く「APEC開催のため何月何日から何月何日まで駐車禁止にご協力願います」とある。全く笑っちゃう話し、元々駐車禁止のところ、でも違反常習地区、どうするか、下手に出ると通じるのが関西でもあるのです。

この様な大阪の事柄を取り纏めて「大阪学」と言う学問分野を創設し、出版した本があります。（元朝日新聞編集委員、帝塚山大学学長大谷晃一氏、1923年大阪生まれ、エッセイストクラブ賞受賞など）このこと事体が面白く吾が意を得たりと読み拾うと、面白い話が満載。（小生の話しはこの学者が取り上げる前からのオリジナルであります。）

「大阪学」からの引用によると明治維新の頃、大阪の人口

観光立国セミナー

会場：海事センター

「タイ国政府観光庁の活動」

藤村 喜章氏

第132回（4月14日）タイ国政府観光庁マーケティングマネージャー

本年は日本とタイ国の修交130周年に当たり「Amazing Thailand」キャンペーンを継続しており日本人入国150万人の目標達成を目指して活動中である。

1) タイの基礎知識 人口6,700万人・95%が仏教徒・高温多湿で雨季あり・BTS(公共交通機関)が整備されている・生まれた日の曜日と色の関係に関心が高い・日本からのアクセスはJAL、TG、AIR ASIAでBKKに集中している。

2) タイの観光 5主要観光地域がありBKK、プーケット、アユタヤ、チェンマイ、パタヤ、スコタイなどの人気が高く、メコン川流域の国々へのゲートウェイでもある。宿泊施設は高級リゾートホテルからユースホステルタイプまで揃っている。ショッピングはリバーフロントが開発され益々充実している。パクチーブームもありタイ料理愛好家が増えレストランやバーも揃っている。マッサージやスパ、特にメディカルスパなど癒しへの関心も高まっている。ゴルフ場は200コースもあり、各地各時期でマラソン大会が開かれており参加者が増加している。プーケットやサムイ、パタヤなどビーチリゾート

は約40万人、武士は500人ぐらいだったらしいのです。

一方江戸は200万人に何万人と云う浪人者が徘徊していたと云う。そこで小生が思い付くのは町奉行です。

江戸は例えば俳優で云えば佐々木信綱の様な重厚な存在、関西とは云うと藤田まことの様な軽妙、小袖姿の粋人で町人風、犯人に情けを掛ける雰囲気がある。この甘さが全国区になると指摘されるところであります。少しはよろしいのではないのでしょうか？

・電車を待つ駅ホームの者列、入り口のドアが開くと吾先へとなだれ込む様子はマナーの悪さとして良く東京人が指摘しているところですが、商売の基本は、また自立して生きるには先ずもって「早いもの勝ち!」なのではないのでしょうか。

扱、極め付きは次の話しです。
・終戦直後、大阪梅田駅前の風景、おばハンが「キップ要りませんか」と売り歩いている。市電、地下鉄、市バスの回数券を一枚づつ売る、1割の確実な儲けとなり生活費です。違法ではありません。この時世を通過して行った、またキップ買った人達は大阪では電車のキップはおばハンから買うものと思って育ったと思います。民の力なのです! ドヤ!



現在のホテル日航大阪
御堂筋大丸前交差点より撮影
写真: Wikipedhia

以上



トがハネムーンやウェディング層に人気である。ト鉢、市場、タイダンス、キックボクシングなど日常体験も盛んである。

3) 日本マーケットへの誘致活動

2015年の入国者数は2,900万人、国別では中国(790万人)マレーシア(340万人)韓国と続き、日本人は90万人であった。本年目標の150万人達成に向けて様々な誘致活動を行っている。ゴルフ、マラソン、ダイビングなどのマーケットヘツーリズム EXPOなどでPR活動を強化している。今後の取り組みでは地方空港への働き方を強め、地方空港の定期便との共同販促、大学や高校へ海外スタディツアーや修学旅行の誘致、ツーウェイチャーター便の誘致、シニア層の長期滞在型交流の促進などを行ってゆく。

4) 2017年の観光テーマ

「Value for money」から「Value for experience」

霞が関通信



観光と鉄道(4)『旧深名線 沼牛駅舎』



幌加内町役場 地域振興室
飯沼 剛史氏



北海道北部、山々に囲まれた人口約1,500人のまち、幌加内町。有数の豪雪地帯であり、そばの作付面積・生産量ともにトップの「日本一のそばのまち」です。そんな地域の中に、旧深名線（平成7年廃止）の駅、「沼牛駅舎」がいまも佇んでいます。この駅は、昔の典型的な「木造駅舎」で、駅開業から87年が経過した歴史的建造物でもあります。建物が建つ下幌加内地区、沼牛地区は、かつて海軍指定の鉱山があり、最盛期・年間2,500トンのクロームを採掘、沼牛駅から各地へ輸送されるなど、鉱物や木材、粘土の搬出拠点の駅でもありました。

レールが消え、「駅」としての役目を終えた沼牛駅。そんなとき、地元の方が「馴染み深い駅舎を何かの形で活用したい」との思いから建物の管理を引き受け、冬には約2メートル以上も降り積もる屋根の雪を、ひと冬で3、4度除雪をし、たったお一人で20年以上も守り続けていました。それを知った地元や近隣の若手らが強く共感し、「貴重な鉄

道遺産を守り、まちの魅力としても発信したい」とのことから当団体としての活動が平成27年より始まりました。

昨年春、北海道東部の旧・池北線「上利別駅」（昭和10年築）が解体されることを知りました。私たちは「北海道の鉄道史を物語る木造駅舎を少しでも残せないか」と考え、解体する木造駅舎の一部を沼牛駅舎へ転用修繕すべく、鉄道建造物系では全国初となる『クラウドファンディング（インターネットを介した募金活動）』に挑戦し、全世界から目標額200万円を上回る239万円の支援を得て、無事に沼牛駅舎を修繕する事が出来ました。

雪深い北海道に佇む旧木造駅舎を守るため、全世界から支援の手が差し伸べられました。幌加内町や北海道にとつての「鉄道」とは、まちの発展や生活とともに歩んできた重要な「歴史」の一つです。地域の光り輝く「宝」をさらに磨き続けて行くため、今後も取り組みを進めて参ります。



銀座の空を突くG6(中央)と右隣は老舗ライオンピアホール

同字)の商いを護る願いを込めた命名らしい。関東大震災の翌1924年に復興の先陣を切り銀座初の百貨店として開業、やはり銀座一高い8階建てだった。

銀座の進出・淘汰は進む。4丁目目の日産ショールームなどが昨秋交替し「銀座プレイス」に、プランタンが閉店し今春「マロニエゲート銀座」になった。数寄屋橋交差点角の東芝・阪急跡は1年前「東急プラザ銀座」が開業し、向かい「新ソニービル」で2022年秋再開する。G6は年2千万人集客と売上600億円を目指し正面にDior、CÉLINE、SAINT LAURENT、Van Cleef & Arpels、VALENTINO、FENDIなどブランドが並ぶ。日本橋、虎ノ門、赤坂、六本木など再開発も進み競争は激しい。文・写真 林 莊祐

アメリカこぼれ話 49 「捕虜になったジョージ・ワシントン」



元JTB取締役 北村 嵩

ジョージ・ワシントンが初代大統領に選ばれたのは、独立戦争で植民地側の正規軍である大陸軍の総司令官として戦い、勝利してアメリカの独立を勝ち取った中心的人物であったからである。しかし、大統領への道につながる大陸軍総司令官に選ばれたのは、若き日のワシントンの敗戦と捕虜の体験がそのきっかけになったことは余り知られていない。1754年の春、22歳のワシントンは、中佐として150人のヴァージニア民兵隊を率いてペンシルヴァニアの奥地、現在のオハイオ州ピッツバーグに向かった。前年、森林奥地を偵察したときにフランス人が入り込んでいたのを発見して報告したため、急遽派遣されたのである。この地はフランス人にデュケヌと呼ばれおり、皆はフランス軍に占拠されていた。ワシントンは砦を攻撃し、一部を捕虜にして奪還に成功したが、すぐにフランス軍に包囲され降伏した。

1年後には「フレンチ・インディアン戦争」が勃発する、英仏が険悪な関係の時期であり、フランス側にはこの青年士官を処分する理由も機会も充分にあった。しかし、当時フランスは啓蒙主義の時代であり、人間の理性に信頼を置く風潮が溢れていた。ワシントンは射殺を免れ、ヴァージニアまでフランス軍によって護送された。この事件でワシントンは宿敵フランスに挑戦した若き英雄として歓迎され、その後の彼の人生に大きな影響を与えたのである。「フレンチ・インディアン戦争」では、ワシントンはブラドック將軍率いる英国正規軍の副官に任命されて再びデュケヌ砦に進軍したが、イギリス軍はフランスに破れた。ブラドック將軍は戦傷死し、ワシントンは残った軍隊を引き連れて落ち延びた。

20年ほど後、1775年にイギリスからの独立を目指して独立戦争が始まり、ワシントンは13植民地を束ねる大陸軍の総司令官に任命された。この時フランスは、イギリスに対抗する大陸側を支援していち早くアメリカの独立を承認し、1780年にはロシャンボー將軍率いるフランス軍がアメリカに上陸した。戦争の前半は、民兵軍の寄せ集めで正規の軍事訓練を受けていない大陸軍は、英国軍に対して苦戦を続け、敗戦を重ねた。その後、フランス軍の到着で勢いを盛り返し、勝利したのである。

1783年、独立戦争の天王山、ヨークタウンの戦いで米軍は仏軍の支援を得て英国軍を破り、戦争は事実上終了した。

1787年、フィラデルフィアで開かれた憲法制定会議で議長を務めたワシントンは、満場一致で新しい憲法で定められた初代の大統領に選出されたのである。



ジョージ・ワシントン
写真:Wikimedia



ヨークタウンの戦い:コーンウォリスの降伏:Wikimedia

火の接吻

小田急電鉄(株)特別社友 利光 國夫

先頃歌手のベギー葉山さんの訃報が伝えられた。享年83歳とのことで私より若干年上ではあるがほぼ同世代であり、「時」の移ろいを改めて感じさせられる想いである。私が十代の頃新進のジャズ歌手としてデビューしてきた彼女は、進駐軍のキャンプを転々としながらジャズを覚えて日本人ジャズ歌手としてプロとなった人達の一人である。後年アメリカ人ジャズ歌手の物真似の域を脱して数々の名歌謡を残した彼女だが、私にはやはり懸命に英語でアメリカのジャズを歌う少女のイメージが忘れられない。

当時は勿論テレビは無くラジオの時代だったが、一度だけ日比谷公会堂で某民放局の収録での彼女に生で接したことがある。このとき聴衆から圧倒的にアンコールされた曲が「kiss of Fire(火の接吻)」だった。この曲は当時アメリカで活躍していた白人女性歌手ジョージア・ギブスが歌って大ヒットしたもので、この人はアメリカ人としては身長160センチ足らずの小柄な女性だったそうだが、非常にパンチの効いた歌い方でラジオで聴いていてもなかなか迫力があり、葉山さんにとっても勢一杯のパフォーマンスであっただろう。

そもそもこの曲はアルゼンチン・タンゴの古典的名曲「エル・チョコロ」のメロディを借用したもので、原曲の意味はスペイン語で「トウモロコシ」だそうだが、タンゴファンの私はいまだ「トウモロコシ」の実に生えている黄金色の毛のような美しい髪の女を意味するという説を信じてきたのだが、最近になってこの単語はかなりきわどい性的な隠語であることを知った。なるほどそれならこれが「火の接吻」と改題されジョージア・ギブスがあの情熱的歌手の方をした理由が理解できる。十代の葉山さんにとってはいささか荷の重いパフォーマンスだったことだろう。

「火の接吻」そういうものを一度経験してみたいものだが、今や傘寿を目前にした身となつてはまず望むべくもないことというべきか。

JAPAN NOW
では会員を
募集中です

都市の再生、観光振興、環境保全の市民活動に賛同する会員を募集しています

地域の鉄道観光を応援する「観光と鉄道」、世界各国の大使館で開催する「大使館セミナー」等、新しい企画も始まりました。観光振興のご参加、お待ちしております。

■年会費

個人会員(1口5千円から) 団体会員(1口5万円から)

お問い合わせ先 JAPAN NOW 観光情報協会

電話: 03-5989-0902 FAX: 03-5989-0903

観光を学んで育てる! 観光とまちづくりのお悩みに 講師・コンサルを派遣! JAPAN NOW が観光を応援します

講師派遣

観光行政、観光産業などで多大な実績・経験を積んだ JN 講師「観光エキスパート」が訪日客や国内客の「受け入れづくり」「観光体制づくり」「おもてなし・サービス」「イベントづくり」など、分かりやすく役に立つ内容をお伝えします。(定期講座もあります)

コンサルタント派遣

「インバウンド対策」「観光まちづくり」「宿泊施設の悩み」「おもてなしとサービス」「観光で町おこし」などの相談に、最適の講師陣からコンサルタントを派遣します。講師の単独派遣からチーム派遣まで、課題解決に向かってしっかり対応します。

講義とコンサル

- インバウンド効果を我がまちに導く
- サービスひとつでリピーター作り
- インバウンドは小さな準備の積み重ね
- サービス業の危機管理
- 海外訪日客のニーズと対応策
- ホスピタリティで観光のまちづくり
- 観光振興と地域振興の結び方
- 観光学「観光の歴史を学ぶ」
- 観光地域づくりの人材育成
- 公務員のサービスマインドは観光の起爆剤
- ミステリーツアーを作ろう ～手作りツアーを一流に変える～
- 地域を育てる旅行代理店との付き合い方

- ホテル・旅館施設の開業 / 改装 / 用途変更などの各コンサルティング
- インバウンド観光地域づくり、まちづくりコンサルティング
- ミステリーツアー、観光企画を作り出すコンサルティング

ご相談に合った演題もご用意いたします。まずは、ご相談ください。

※ ご相談の内容によっては演題やコンサルをお受けできない場合もあります。ご了承ください。

お問い合わせ、ご依頼、ご相談は JN 協会事務局
03-5989-0902 までお電話ください

読者投稿ページ

JAPANNOW 観光情報協会では、会員の皆様からの投稿を募集しています。観光振興、地域振興に貢献する原稿をお待ちしています。(次回締め切り 7 月 10 日)

『アラカン山脈を越えるもの』

NHK インターナショナル専門委員 田阪 友隆

ミャンマーとバングラデシュを南北に隔てる「アラカン」と言う山塊がある。海拔 3,800 メートル、南北 3,000 キロもある大山脈である。私は 3 年あまり、JICA の委託業務でテレビ番組を作るためにバングラデシュに通っているが、人々・風景・食べ物などから「**違う場所**」にきた」と強く感じる。バングラデシュも、隣国ミャンマーやタイ・インドネシアなどの国々と同じモンスーン気候に属し、農業も稲作である。しかし、バングラデシュでは、ミャンマーなどでは感じない違和感を覚える。その理由は、バングラデシュ以西はインド文化圏で、中国文化圏で育ってきた私たち日本人には、しっくり来ないのである。アラカン山脈は、中国とインドの 2 つの文化圏を隔てる巨大な壁になっている。

バングラデシュにいと、文化・芸能面でも違っていると痛感させられる。例えば、隣国ミャンマーでは、SMAP も AKB48 も大人気。渋いところでは、真田広之がヘンリー・サナダと呼ばれ国民的スターになっている。アクション俳優だった若い頃から、映画「たそがれ清兵衛」で円熟した演技を見せた壮年期までしっかりカバーされている。しかし、バングラデシュでは、誰に聞いても「ヘンリー・サナダって誰?」と言う返事しかない。日本・中国・インドネシアなど(中国文化圏)を席捲している韓流ドラ

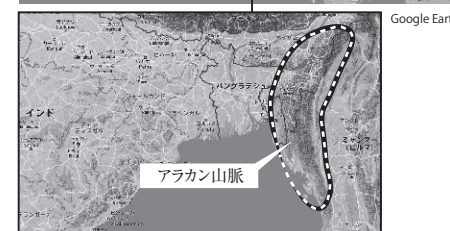
マもバングラデシュでは、その影も見えない。宗教的な原因ではなさそうだ。同じイスラム教国のインドネシアでは、韓流が大人気だからだ。やはり、アラカン山脈と言う地勢上の理由で、この時代になっても、大規模な人的交流＝草の根の交流が妨げられているからだろう。

アラカン山脈という壁は、文化を隔てているだけではない。第 2 次世界大戦中、ミャンマー(旧ビルマ)からインドに向かって進んだ日本陸軍もこのアラカン山脈を越えられなかった。2 万 2,000 人の戦死者が出たインパール作戦である。今でもアラカン山脈では、時折、白骨が出るという。

バングラデシュの首都ダッカでは、去年の夏、日本人 7 人を含む 26 人が殺害された。こうした中でも私たちは、テレビによる国際交流を進めているが、バングラデシュでは、「ニュースは政府の広報」、「番組は伝統文化の普及」と言う考え方が支配的で、テレビの大衆性・ジャーナリズム性を強調する私たちは、苦闘している。日本のテレビ番組・その手法も、なかなか、アラカン山脈を越えられていない。ただ、ひとつ、過去、この山脈を軽々と越えた例がある。それは、80 年代のドラマ「おしん」である。現地の言葉で放送され、視聴率が 87 パーセントを記録したと言う。いま、バングラデシュでテレビ番組を作っている私たちのプロジェクトの合言葉は、「アラカン山脈を越える第 2 の『おしん』を作り出そう!!」である。



現地のテレビ局の人たちを指導する筆者(右下)



Google Earth

『徘徊ひとり旅ーNYで凍る』

サービスコンサルタント 山岡 弘幸



1月NY経由ニューオル
リンズへの旅。JL6便午
前中NY着、LCC (JL便名)
2時間後出発のモノレールで別ターミナルへ。トラン
ジットなので荷物は預け
たま。 (ここから凍りはじまります。) LCCターミナル
のカウンターに20分後に到着、すべてセルフサービスの
為もあり既にロングネークラインが出来ていた。やっ
とカウンターに辿り着くと「たった今あなたの便はキャン
セルになった。理由は寒波で荷物を機内に運べない。
後はBAGGAGE CLAIM COUNTERへ行って下さい。
オワリ」NYの立地は八戸、青森、十和田と同じ。雪は
少なく-5℃~-15℃道はツルツル、頭が痛くなりモンゴ
リアン風キャップを買う。並ぶだけが人生。

その後荷物は空港内にあるらしいと判明。ターンテー
ブルへ出発しそこなった荷物がどんどんロビーへ。その
数は5,000個を超え、ブラックスーツケースの異様な景色
でガードマンが見張っているの自分では探すことが出
来ない。カウンターでは事情説明だけを受けて「紛失は
していない。気の毒ね!」とオバサマ、老眼鏡をズリ上
げた。

ここで気が付いた。学生時代は演劇部の通行人役だっ
たことを。ターンテーブルの近くで胸を押さえて横にな
り、片目を開けてじっとしている。90分後混雑している
ロビーの中にいる白髪のジジイ (私!) にガードマンが
気付き「如何した?」「シンゾーが弱く、薬が行方不明
中のカバン内にあり。HELP ME!」LCCの事務職や女性
私服姿もロビーに駆け付け各所で応援している。若い女
性職員が小生担当と相成り「探してくるのでこの場所か
ら移動しないで! 万一の場合はコールベルを押して」
(以上米語2回繰り返す) ミネラルウォーター1本頂いた。

JFK 空港に到着してから6時間後 (現地時間夕方6時
頃) 外は寒風、荷物は来ない。トムハンクスの映画「AIR
TERMINAL」を思い出し鼻水とナミダのカクテル。結
局この日は出てこないでJALカウンターへ戻ると看板
は既に他の航空会社に変更。聞けば「もう誰もいない
よ。明日は午前10時頃にJALがオープンだ。」

帰国時に予約したホテルへ行く。手提げBAG 1 ケで
WALK-IN。宿泊料は日本で予約したレートで交渉。100
年以上の10階建て「ザ・メトロ」。下着の替えをコンビニで
2つ持ってレジへ行くも「FOR YOUR WIFE?」
「NOT OPEN」女物でした。ちゃんと元のハンガーで
戻せよ、アメリカ人。コリアンタウンに近いホテルなの
で焼肉屋はすぐ見つけ「ヨボセリ!」こっちは「イル

ボンセヨ」と返事、すぐ日米韓語入り乱れてビビンバ。
安くて旨いー安心。

荷物は出てこないしマンハッタンに3日間居ることに
したので、アイススケート状の町へへっぴり腰で徘徊。
セントラルパークを横目で見ながらメトロポリタン美術
館へ行き売店を見てトイレに行こうと探す。結局入場券
(17ドル位) を買わないと駄目。タダはなし。予算的に
大小排出させた。美術品に対するキモチは精神的余裕の
ある時迄お預け。

寒さにはアツカンと決めている。日本製のBOXカー
TAXIで10分、52丁目の和食店へ。下車時領収書発行。
義務らしい。アツイおしほり。大徳利菊正宗と「ざる
ソバ」(酒はカリフォルニア、ソバはカナダ産)。ビジネ
スマンや日本に勤務した経験のある利用客が多く松井や
イチローも近くに住んでいた頃には来ていたが
PRIVATEにはそっとしておくムードは見習いたい。
スッピン女優がスーパーでワゴン押しているのを周り
は知っていてもさりげなくフツー。メールで写真とる人
もいない。監視TVカメラも「SMILE!」「CHEERS!」と
見守ってますよ、ご自由的です。(警察官立ち寄り所
はオマワリさんの指定銀行かと漢字民族に聞かれたこと
思い出す。)

4日後再びJFK空港へ。荷物は帰国便に優先搭載、在
米中一度もお目に掛かったことがなかった。お見舞金
US\$150 頂いた。成田着、久しぶりに荷物と対面、開け
るとNYの冷気と思い出と緩んだシャツなど。

<結論> 一人旅の楽しさ満喫。何がおきてもプラス
発想。中学英語で十分。夜は早く寝る。好奇心は昼間だ
け。セロガン (糖衣) はお忘れなく。



マリリンモンロー主演「お熱
いのが好き」のロケ地にも
なった老舗有名ホテル
HOTEL DEL CORONADO
歴代アメリカ大統領も数多く
宿泊した由緒ある HOTEL



『鈴木正文流「日本を紹介する」活動』

ー 訪日客増加のための一つの試み ー

鈴木 正文

訪日客増の目的を持ち、今年4月、イタリアで端唄
の踊り「かっぱれ」の公演をしてきました。

私は鈴乃家流かっぱれ家元 鈴乃家梅奴 (うめやっこ)
として50年踊り続けています。公演を行ったのはイタ
リアの国立大学2校

国立ナポリ大学「オリエンターレ」 (参加数250名)
国立パレルモ大学 (シチリア州都) (参加数50名)
小学校1校 ナポリ私立小学校 (参加数200名)
それに一般の方を対象にした1ヶ所 カルタジローネ (パ
レルモから東へバスで3時間、人口30,000人の町) (参
加数10名) の4ヶ所です。

ナポリからパレルモへは夜行のフェリー船を利用し、
18:00 出航、6:30 に着き、夢のような静かな船旅を経験
しました。

説明は全てイタリア語で行い、「かっぱれ」を育んだ江
戸時代265年間の文化を語りました。私はイタリアペ
ルーシア大学を卒業し、在日イタリア政府観光局に奉職
していました。また、当協会の平成21年3月4日開催
第39回観光立国セミナーで、「イタリアはなぜ観光立国
なのか」との演題で講師を務めたこともあります。

I. 江戸時代265年間の文化について次の内容を話しました。

- ① 鎖国について
- ② 男子の髪型—ちょんまげ—について
(浅草で芝居用のかつらを購入し、それをかぶり、見せ
たらオオウケでした。)
- ③ 江戸時代がいかにエコであったかの説明
(浴衣の反物1反は、最初は浴衣を作り、それから古く
なったら肌着にして、男子用にはフンドシにもなり、その
後は下駄の鼻緒になり、最後が土に入れ肥料にした。)

II. 次は気分転換のため「横笛一條笛」を吹きました。

曲目は「花」「さくら」それにテンポの早い「祭り囃子」
の3曲。
「花」「さくら」は現地の日本人に必ず歌ってもらい、
「一緒に楽しむ」雰囲気心がけました。

III. 次は「かっぱれ」の映像 (DVD) の上映。

日本各地に伝わる貴重な内容を、10分位にしたものを
ご覧いただきました。
なお、要所はイタリア語にしています。

IV. 4番目はいよいよ踊りです。

- ① お客様の体験コーナー

私は先ず、お客様に問いかけてみました。「踊りの振り」を
試したい方は挙手してください?と
ナポリの国立大学の学生 (250名) はホトンドが「ハー
イ」との返事。

2名の上に舞台上上がってもらい、「踊りの体験」をし
ました。

これがオオウケ。

なお、舞台上上がった体験者には、私の「名入りの手ぬ
ぐい」をお土産に差し上げました。

- ② ここからは私の独壇場で、「奴さん、深川、かっぱれ」
の3曲を踊りました。

以上が、経費は全て個人負担の私流「日本紹介」の旅でした。

イタリア公演の様子は <https://youtu.be/ztffKvLeBVwk> で
ご覧いただけます。



国立ナポリ大学東洋学部

国立パレルモ大学語学部 名入り手ぬぐいのお土産



国立ナポリ大学東洋学部 学生250名

同左

